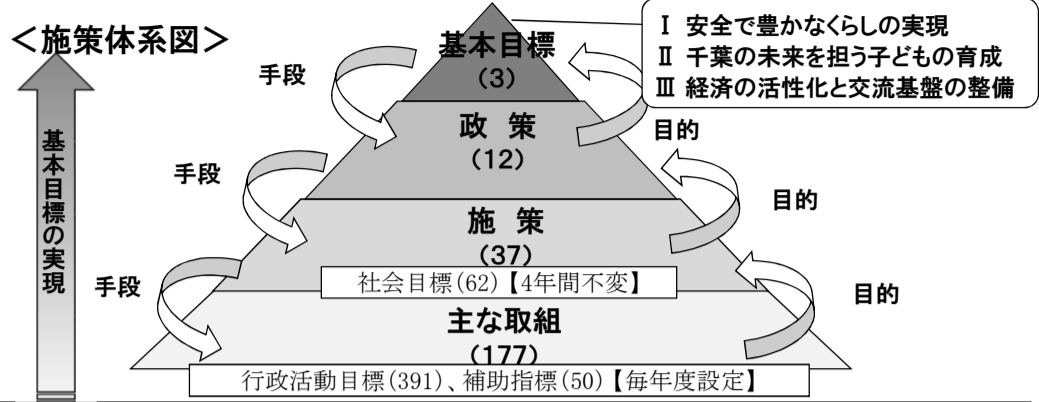


「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」(平成29年度～令和2年度) 政策評価の概要

1. 政策評価制度の概要

平成29年10月に策定した「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」の推進に当たっては、計画期間である令和2年度までの4年間で、県民の皆様と共有し力を合わせて実現を目指すべき目標である「社会目標」の進捗状況を、毎年度数値化して把握・分析するとともに、施策や取組の実施状況等を踏まえ、必要となる改善を次の施策展開に反映させるという、政策評価制度を実施しています。

＜施策体系図＞



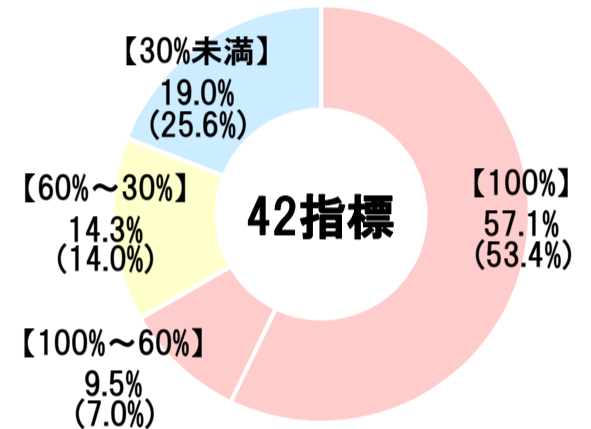
2. 目標の達成状況

(1) 社会目標(アウトカム指標)

- 4年間で達成を目指す社会目標については、全37施策で計62指標を設定しています。
- 計画最終年度である令和2年度実績値が現時点で判明している42指標のうち、「学習指導に満足している保護者の割合」や「県内への企業立地件数」など24指標(暮らし14指標、子ども6指標、経済4指標)が計画で設定した目標を達成しました。
- 一方、18指標(暮らし6指標、子ども6指標、経済6指標)は達成率100%に届きませんでした。このうち13指標は目標設定時よりも改善しました。また、18指標のうち、達成率が「30%未満」となっているのは、「不当な契約等により消費者被害を受けた県民の数」や「成田空港の航空旅客数」など8指標です。

【社会目標の達成率】(カッコ内は公表時点における前年度の進捗率(注))

基本目標	100%	100%～60%	60%～30%	30%未満	未判明等	計
I 暮らし	14 (12)	1 (2)	3 (4)	2 (3)	9 (8)	29 (29)
II 子ども	6 (7)	2 (0)	1 (1)	3 (5)	3 (2)	15 (15)
III 経済	4 (4)	1 (1)	2 (1)	3 (3)	8 (9)	18 (18)
計	24 (23)	4 (3)	6 (6)	8 (11)	20 (19)	62 (62)



令和2年度実績値が判明している42指標(令和元年度は43指標)

◆達成率の算出方法

資料3に掲げる「計画策定時の現状値(a)」、「令和2年度の実績値(b)」及び「目標値(c)」を用いて社会目標の達成状況を0%～100%の数値で表したものです。

$$\text{達成率(\%)} = \frac{\text{令和2年度の実績値(b)} - \text{計画策定時の現状値(a)}}{\text{目標値(c)} - \text{計画策定時の現状値(a)}}$$

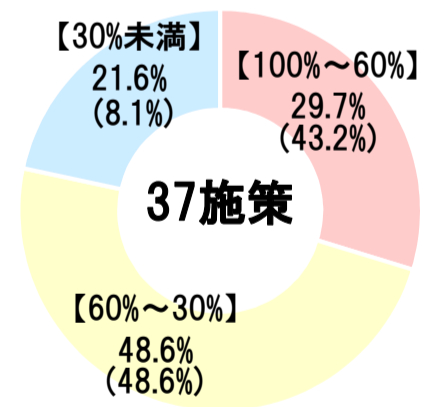
注:前年度の進捗率は、「令和元年度の目安値」に対する進捗を表しているため、進捗率100%となっているものは、最終年度の目標を達成しているということではなく、途中段階として順調に推移していたということを示しています。

(2) 令和2年度の行政活動目標及び補助指標(アウトプット指標等)

- 令和2年度は、全37施策について、毎年度の県行政の活動量を測る行政活動目標を計391項目、補助指標を計50項目設定し、様々な取組を実施しました。37施策のうち、「進展度」(※)が「60%以上」となっているものは、前年度から5施策減少して11施策(32.4%)となりました。
- 一方、進展度が「30%以上60%未満」となっているものは、前年度と同様の18施策(48.6%)に、また、「30%未満」となっているものは、前年度から5施策増加して8施策(21.6%)となりました。
- このように行政活動目標等の進展度が低下した理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会や啓発活動をオンラインの活用をはじめ感染症対策を講じて実施したものの回数や参加者数が目標に達しなかったことや、立入検査の実施が難しかったことが挙げられます。その他、各分野における人材不足や用地取得等の課題により、未達成となった行政活動目標等もありました。

【行政活動目標等の進展度】(カッコ内は前年度公表値)

基本目標	100%～60%	60%～30%	30%未満	計
I 暮らし	5 (5)	7 (9)	5 (3)	17 (17)
II 子ども	2 (3)	3 (4)	2 (0)	7 (7)
III 経済	4 (8)	8 (5)	1 (0)	13 (13)
計	11 (16)	18 (18)	8 (3)	37 (37)



※進展度とは、1施策における行政活動目標及び補助指標の達成割合を示したものです。

※行政活動目標とは、予算や人員等を踏まえ、県が行政活動の結果として管理すべき単年度の目標を、行政が実施した業務量を測るものとしてアウトプット指標により設定したものです。

※補助指標とは、社会目標と行政活動目標の結びつきがわかりにくい場合、社会目標と行政活動目標の間の目的・手段の結びつきを補足するために設定したものです。

(3) 令和2年度までの総括

- 平成29年度から30年度において、行政活動目標及び補助指標(アウトプット指標等)は、概ね順調に推移していましたが、その後は、令和元年房総半島台風等の災害や新型コロナウイルス感染拡大により、予定どおりに事業が実施できませんでした。
- こうした中、災害からの速やかな復旧・復興のため事業を創設して取り組んだほか、新型コロナウイルス感染症の深刻な状況に対して、効果的な代替措置を工夫して各種事業に取り組んできました。
- この結果、社会目標(アウトカム指標)は、実績値が判明している指標のうち57.1%が目標達成するなど、一定の進捗が見られました。
- なお、目標達成できなかった指標については、今後、施策の見直しや改善を図るとともに、新たな事業の検討に生かしてまいります。

【社会目標の達成率・進捗率】現時点の実績値(公表後判明分含む)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
100%	21 (36.8%)	26 (44.8%)	25 (45.5%)	24 (57.1%)
100%～60%	12 (21.1%)	9 (15.5%)	7 (12.7%)	4 (9.5%)
60%～30%	5 (8.8%)	6 (10.3%)	7 (12.7%)	6 (14.3%)
30%未満	19 (33.3%)	17 (29.3%)	16 (29.1%)	8 (19.0%)
未判明等	5	4	7	20
計	62	62	62	62

【行政活動目標及び補助指標の進展度】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
100%～60%	29 (78.4%)	27 (73.0%)	16 (43.2%)	11 (29.7%)
60%～30%	8 (21.6%)	10 (27.0%)	18 (48.6%)	18 (48.6%)
30%未満	0 (0%)	0 (0%)	3 (8.1%)	8 (21.6%)
計	37	37	37	37

※カッコ内の比率は未判明等を除いた上で算出しています。